

令和5年度「学び、行動するPTA」団体表彰

No.	団体名	活動・業績等の概略
1	平塚中等教育学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・本校PTAは、コロナ禍の令和2・3年度は「学年委員会」、「安全厚生委員会」、「教養委員会」の3つの常置委員会を設置しないなど、活動に大きな制限を受けました。 ・令和4年度に活動を再開するにあたり、PTA会員が参加しやすくなるよう、委員会を「交流活動」「交通安全」「広報」の3つに再編するとともに、委員会からグループに名称を変更しました。あわせて、グループのメンバーの選出方法をクラス単位から学年単位に変更しました。また、本部担当副会長が各グループの連絡調整役を果たすなどスリム化も図りました。このように、参加しやすく、持続可能なPTA活動を目指してきました。
2	元石川高等学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・Googleフォームを使い、作業を効率化している。 ・同窓会とコラボしたPTA活動。
3	海洋科学高等学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活動状況の報告や連絡、イベントの開催告知や連絡、広報委員会の授業などを取材した動画を配信するため、LINEのオープンチャットを活用した。 ・PTA保護者、卒業生保護者との情報交換や情報共有のためにPTA OB・OG会を発足した。 ・海洋祭（文化祭）に卒業生、PTA OB・OG、一般会員をボランティア募集。 ・地域の警察に交通安全教室の依頼をして実施。 ・卒業生のためにコサージュを手作りし卒業記念品とした。 ・高校オリジナルグッズの制作をして文化祭で販売 ・PTA保護者の各種イベントを計画し実施した。
4	百合丘高等学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に地域と関わりをもちながらの活動 ・生徒と交流を持ちながらの活動 ・参加しやすいPTA活動が出来る環境、運営効率化への工夫
5	希望ヶ丘高等学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス流行後、4年ぶりの「制限のない高校生活」を支える、「リアル」「熱量」を大事にしたPTA活動を展開しました。 ・一方で運営面では完全にコロナ前に戻すのではなく、時代に合わせた変革も行い、事務負担の軽減や連絡フローの見える化を進めました。

令和5年度「学び、行動するPTA」団体表彰

No.	団体名	活動・業績等の概略
6	新城高等学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の完全なる収束が見通せない中、会長の「できる人が、できることを」というスローガンのもと、感染予防策を施しながら、各行事で生徒を支援している。また、参加するPTA会員は生き生きと楽しく活動している。 ・5月体育祭において、熱中症予防のためのドリンクと塩分タブレット提供を行っている。コロナ禍以前は、ジャグからコップに注ぐ形式での提供であったが、感染予防を最優先するため、令和3年度に見直し、ペットボトルでの提供に切り替えた。特に、令和5年度は炎天下での実施となり、生徒から大いなる好評を得た。 ・卒業式終了後に「卒業を祝う会」を行っている。コロナ禍以前は飲食を伴う会であったが、実施形態を見直した。入学からの3年間の記録写真をスライドショーに編集し直して上映し、卒業生と保護者が共に思い出を振り返る機会とした。卒業生や保護者に加え先生方も涙を流す場面もあり、思い出深い卒業を演出している。 ・加えて、7月合唱コンクールでは保護者受付業務、9・10月文化祭では校章入りどら焼き販売・手作り品販売・写真展示・制服リユース、12・1月地域貢献活動（学校周辺の清掃）での協働といった学校行事・生徒会行事に全面的に協力している。 ・特に、今年度の文化祭が入場制限完全撤廃となり、約5千人の来場が見込まれた。学校から、混雑による混乱、飲食における感染対策の不徹底、不審者の侵入といった点での不安について相談があり、一般公開当日にPTA各委員が腕章を着けて校内巡回することで安全対策にも協力した。 ・また、令和4年度には川崎地区交通安全大会、令和5年度には高P連川崎地区大会を、それぞれの理事校として企画・運営し、どちらの大会もコロナ禍以降、初の参集形式で実施した。他校のPTAと顔が見える形での実施は、地区内の情報共有や意思疎通の活性化に繋がっている。
7	山北高等学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の保護者へ向け、PTA活動内容について丁寧な説明ができるよう、パンフレットを作成し委員会募集アンケートと一緒に配付している。 ・次年度の委員募集時に、前年度の活動内容を映像で投影し、保護者の生き生きと活動する姿を分かりやすく伝える工夫をしている。また、PTA委員の募集と共に、PTA活動は学校と保護者が共に協力しあう活動となっていることを会員に伝えている。 ・学校行事（陸上競技大会）時において、生徒の安全を守るためパトロール及び飲料販売を実施している。 ・山北町の音楽フェス「ライブイン山北」（近隣の高等学校軽音部による音楽祭）において食事提供を行い、山北町教育委員会、学校、PTAが協力しあう活動をしている。

令和5年度「学び、行動するPTA」団体表彰

No.	団体名	活動・業績等の概略
8	厚木北高等学校PTA	生徒の行う地域貢献活動に、本校PTA環境整備委員が合流し、校内外の環境美化活動を行った。また、花壇やプランターの花の植え替えを生徒有志とともに行ったほか、花の水やりも環境整備委員会の生徒と協働して年間を通じて行い、校内の環境美化を推進した。
9	座間高等学校PTA	<p>当校のPTA組織は「出来る人が、出来る時に、出来る事を」というスローガンのもと行われており、そのために幾つかの取り組みを行い、全校生徒の1割である約100名の保護者が役員として活動しています。</p> <p>当校独自の活動である「藍の栽培と一連の活動」（文化祭での藍染教室や、「あいの勝ち袋」の作成など）により、当校のPTA活動の活性化に寄与しているだけでなく、地域の学校の活動に貢献したことや、今後の取り組みについて報告します。</p>
10	海老名高等学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・全会員への募集を行ったところ、30名程のご応募をいただき、本年度は「文化祭での模擬店（焼き鳥）出店」、「環境（植栽）整備活動」を実施しました。 ・結果として、「有意義な交流を図ることができた」、「学校行事・環境整備に携わることができてよかった」等々、好評の声をいただく状況となっています。 ・「新型コロナウイルス感染症」により制約を受け停滞しているPTA活動、会員のコミュニケーションの増進を図ることができました。 ・案内、応募、連絡手段として、紙ベース以外に、マチコミ配信、Eメールを活用し、広く広報する手段を講じ、また効率化を行うことができました。
11	伊勢原高等学校PTA	未公開
12	足柄高等学校PTA	<p>「足高汁」（豚汁）の提供</p> <p>役員による足柄高校冬の一大イベントが「足高汁」（豚汁）の提供です。かつては冬の校内マラソン大会の際に、現在は12月の球技大会の際に行われています。</p> <p>校内の間伐材を用いた薪の火力で、PTA所有の大釜を使ってつくる豚汁の提供は、大掛かりな準備と作業を要しますが、ずっとPTA役員により踏襲されています。歴史のある中でも、材料の調達や調理の分担においては、それぞれの工夫が加えられ、進化し続けています。</p>

令和5年度「学び、行動するPTA」団体表彰

No.	団体名	活動・業績等の概略
13	城郷高等学校PTA	PTA活動を通して、学校教育環境を改善し、学校行事などの生徒への意識付け、また、とりくむ意識を向上させた。同時にPTA活動を生徒に知ってもらうことにより、PTA会員のやる気を向上した。
14	柏陽高等学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の意見や要望を活動に反映させた、学校教育に関する学習活動やその他成人教育に関する活動 ・ 多くの保護者や職員が参加しやすい環境づくりや運営効率化への工夫
15	秦野高等学校PTA	<p>○保護者向け進路講演会の開催（年4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者自身が「我が子の進路選択」に対して学びを深め、情報収集のアンテナを高く持つきっかけとした。 ・ 各家庭において、子どもとのコミュニケーションのきっかけとし、「我が子の将来の進路選択」に向けて有益な情報収集の場とした。 ・ 近年の変わりゆく大学入試制度について旬な情報を得るとともに、各学年キャリア教育担当教諭の話を通して学校での子どものおようすを知る場とする。